

# 高木仁三郎市民科学基金 助成研究/研修 完了報告書

提出日：2010年6月3日

## 1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

氏名(グループ名)	長島の自然を守る会
連絡先・所属など	〒742-1403 山口県熊毛郡上関町大字室津836
調査研究・研修のテーマ	上関原発予定地長島の自然環境と生態系調査

## 2. 調査研究・研修結果の概要

長島の自然を守る会は2009年度(2009.4.1~2009.3.31.)に計40回、延べ170名の参加で調査を行った。またスナメリウォッチングツアーやスギモク観察会など自然に親しむイベントを開催し延べ45名の参加があった。特に今年度は昨年度から中国電力との間で論争になっている海鳥調査を重点的に行なった。調査活動において、国の天然記念物でIUCN(国際自然保護連合)指定の絶滅危惧種カンムリウミスズメの生息を周年確認し、繁殖の可能性も含め上関周辺海域がカンムリウミスズメの生息にとって重要であることを立証した。また予定地から約5kmの宇和島において内海としては世界で初めてオオミズナギドリを繁殖を確認した。これらの実績をもとに中国電力には埋め立て工事を中断するよう、環境省・経済産業省には工事を中断させるよう申し入れた。中国電力は「カンムリウミスズメは工事区域内に繁殖の可能性が少ない。私企業なので海洋生態系に責任は持てない。」「オオミズナギドリは予定地から遠いので調査はしない。鳥は飛んで逃げる。」とマスコミも呆れる回答に終始し、海面埋立工事の着工を強行した。環境省や経済産業省からは「アセスメントは終了しているが、カンムリウミスズメなど希少種の調査や保護について事業者から報告をあげさせる。」との回答を得た。埋立工事の中止には至らなかったが、近藤正道参議院議員(2009年10月)川田龍平・平山誠参議院議員(2010年1月)の現地視察、環境副大臣面談(2009年11月)など国政レベルで上関の生物多様性の貴重さが注目を浴びつつある。2010年1月(広島)、3月(東京)に日本生態学会・日本ベントス学会・日本鳥学会合同のシンポジウムが開催され、2010年2月15日に3学会合同要望書が国・県・中国電力・上関町あてに提出された。3学会が横断した取り組みは日本でも初めてのことである。このような動きの結果、環境アセスメント法見直しの議論で、現行のアセスメントの問題点として上関原発が参議院環境委員会・衆議院本会議などで取り上げられた。

また、10年間の調査の集大成として日本自然保護協会の助成を受けて、ガイドブック“危機に瀕する長島の自然”を発刊した。

2010年度はカンムリウミスズメやオオミズナギドリなど海鳥の調査結果が埋め立て阻止の実効力となるかどうかの鍵を握っているため、重点的な調査を行う。また、法廷の場でより詳細な長島の生態系の論証が必要になる。さらに祝島を調査区域に加え、環境アセスメントの不備を追及する戦力に役立てる。

上関の生物多様性保護のため、3学会を中心とした社会的なアピールがより広汎に行われている。守る会も生物多様性COP10に向け、調査受け入れやシンポジウム開催など従来にも増して精力的に発信していく。特に国際世論に訴える取り組みを強める。

懸案である自然と共生できる町作りへの提案に付いても、長島の自然を守る会が上関町に拠点を移したので、未利用海藻や魚類の商品開発などの提言を研究者と共に行う計画である。

### 3. 調査研究・研修の経過

#### (1) 調査

日時	調査内容	指導者	参加者
2009年			
4.12.	海鳥調査(ウトウ初確認)		3名
4.18.	海藻・湧水調査	新井章吾	5名
4.19.	海鳥調査		2名
4.26.	春季(海藻・湧水)調査	新井章吾	6名
5.5.	海鳥調査		5名
5.6.	海鳥調査		4名
5.23.	海鳥調査		4名
5.30.	海鳥調査		4名
6.7.	海鳥調査		2名
7.2.	オオミズナギドリ繁殖可能性調査(鼻線島、天田島:巣穴確認)	山本貴仁	4名
8.8.	アカテガニ調査	佐藤正典	8名
8.9.	夏季(貝類・ナメクジウオ)調査	山下博由、 新井章吾	10名
8.16.	オオミズナギドリ夜間調査		4名
9.6.	オオミズナギドリ夜間調査		4名
9.7.	オオミズナギドリ調査		3名
9.11.	オオミズナギドリ夜間調査		4名
9.12.	オオミズナギドリ夜間調査		4名
9.13.	オオミズナギドリ繁殖可能性調査(鼻線島、宇和島:羽根採取)		6名
9.16.	オオミズナギドリ夜間調査(宇和島:ヒナ確認)		2名
9.19.	ゴカイ調査	佐藤正典	7名
9.20.	海生生物調査	佐藤正典	7名
9.26.	海鳥調査		5名
10.13.	死亡カンムリウミスズメ計測(祝島:解剖で胃の内容物を確認)		4名
10.31.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		4名
11.6.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		4名
11.7.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		4名
11.8.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		5名
11.26.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		3名
12.7.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		4名
12.8.	湧水量調査	新井章吾	4名
12.8.	ナメクジウオ定量調査(海底10~18メートルで11個体確認)	新井章吾	4名
12.9.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		5名
2010年			
1.17.	海鳥調査		3名
1.20.	海鳥調査(原発予定地近傍でカンムリウミスズメ確認)		3名
1.24.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		3名
1.30.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		3名
3.14.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		3名
3.22.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		4名
3.27.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		3名
3.30.	海鳥調査(カンムリウミスズメ生息調査)		3名

## (2) 現地視察及び観察会

日時	内容
2009.6.13.	スナメリウォッチング&ピワ狩りツアー
2009.7.11.	コモンスツアー視察
2009.7.12.	コモンスツアー視察
2009.7.31.	PARC 自由学校現地視察
2009.8.1.	PARC 自由学校現地視察
2009.8.2.	PARC 自由学校現地視察
2009.10.12.	近藤正道参議院議員現地視察
2009.11.7.	神戸大学塚原ゼミ現地視察
2009.11.8.	神戸大学塚原ゼミ現地視察
2009.11.11.	関西四つ葉連絡会現地視察
2009.11.12.	関西四つ葉連絡会現地視察
2009.12.7.	冬季観察会
2009.12.8.	冬季観察会
2010.1.9.	川田龍平・平山誠参議院議員現地視察
2010.1.12.	3学会合同シンポジウム現地エクスカージョン
2010.2.28.	スギモク観察会

## 4. 調査研究・研修の成果

### (1) 希少な海鳥の保護をめぐる動き

2009年度(2009.4.1~2009.3.31.)は計40回、延べ170名の参加で調査を行った。特に今年度は昨年度から中国電力との論争の中心である海鳥調査を重点的に行なった。調査において、国の天然記念物でIUCN(国際自然保護連合)指定の絶滅危惧種カンムリウミスズメの生息を周年確認し、繁殖の可能性も含め上関周辺海域がカンムリウミスズメの生息にとって重要であることを立証した。また予定地から約5kmの宇和島において内海としては世界で初めてオオミズナギドリの繁殖を確認した。これらの実績をもとに中国電力には埋立工事を中止するよう、環境省・経済産業省には工事を中止させるよう申し入れた。中国電力は「カンムリウミスズメは工事区域内に繁殖の可能性が少ない。私企業なので海洋生態系に責任は持てない。」「オオミズナギドリは予定地から遠いので調査はしない。鳥は飛んで逃げる。」とマスコミも呆れる回答に終始し、海面埋立工事に着手した。環境省や経済産業省からは「アセスメントは収束しているが、カンムリウミスズメなど希少種の調査や保護について事業者から報告をあげさせる。」との回答を得た。また日本鳥学会鳥類保護委員会は2009年12月に中国電力の追加調査結果に対する評価を公表し「1.計画「地点」における繁殖の有無のみを保全策の対象としているのはきわめて不十分な措置である。2.繁殖有無確認調査に関しては、調査期間も調査範囲も調査方法も不十分である。3.繁殖期以外の利用海域としても建設予定地周辺海域の重要性を正当に評価すべきである。4.発電所稼働後の影響、とくに温排水が海域生態系に与える影響を評価すべきである。」と厳しい判断を下した。埋立工事中止には至らなかったが、近藤正道参議院議員(2009年10月)川田龍平・平山誠参議院議員(2010年1月)の現地視察、環境副大臣面談(2009年11月)など国政レベルで上関の生物多様性の貴重さが注目を浴びつつある。

### (2) 生物多様性保護をめぐる動き

3学会(日本生態学会・日本ベントス学会・日本鳥学会)が横断した日本でも初めての取り組みとして、2010年1月(広島)、3月(東京)に合同のシンポジウムが開催され、2010年2月15日に合同要望書が国・県・中国電力・上関町あてに提出された。このような動きの結果、環境アセスメント法見直しの議論で、現行のアセスメントの問題点として上関原発が参議院環境委員会・衆議院本会議などで取り上げられた。

### (3) 上関の生物多様性を普及させる取り組み

長島への現地視察は計7回述べ147名、スナメリウォッチングツアーやスギモク観察会など自然に親しむイベントに延べ45名の参加者があった。また、10年間の調査の集大成として日本自然保護協会の助成を受けて、ガイドブック“危機に瀕する長島の自然”を発刊した。

## 5. 対外的な発表実績

### (1) 寄稿原稿

年月	雑誌名	発行元
2009.4.	トラストニュース	環瀬戸内海会議
2009.8.	ひこばえ通信	関西四つ葉連絡会
2009.9.	I女性会議新聞	I女性会議
2009.9.	ふえみん	婦人民主クラブ
2009.11.	鳥学通信	日本鳥学会
2009.11.	原水禁ニュース	原水禁国民会議
2009.11.	アクテイオ	
2010.1.	ラムネットJニュース	ラムサールネットワーク日本
2010.6.	JAWAN 通信	日本湿地ネットワーク

### (2) 講演

年月日	発表場所	主催団体
2009.4.29.	上関伊方原発写真展シンポジウム	原発さよなら愛媛ネットワーク
2009.6.19.	山口県立大学環境学講座非常勤講師	山口県立大学
2009.8.5.	原水禁世界大会“ひろば”	原水禁国民会議
2009.9.21.	日本鳥学会総会自由集会	日本鳥学会
2009.11.24.	小さいのちの大きな輪	ばかでもできるもん環境会議
2009.11.28.	田島環境副大臣面談	
2009.11.30.	「生物多様性の宝庫、長島の自然を考える集い」	広島本願寺別院
2010.3.8.	「生物多様性の宝庫、長島の自然を考える」院内集会	国会議員有志
2010.3.11.	救え！！泡瀬・諫早・上関シンポジウム	泡瀬・諫早・上関救済緊急プロジェクト
2010.3.28.	日韓 NGO フォーラム	ラムサールネットワーク日本

### (3) 申入れ

日時	対象団体	回答内容
2009.9.8.	中国電力	カンムリウミスズメは工事区域内に繁殖の可能性が少ない。私企業なので海洋生態系に責任は持てない。オオミズナギドリは予定地から遠いので調査はしない。鳥は飛んで逃げる。
2009.10.2.	環境省・経済産業省	アセスメントは収束しているが、カンムリウミスズメなど希少種の調査や保護について事業者から報告をあげさせる。
2009.10.28.	文部科学省	中国電力の調査結果について詳細な報告を上げさせるようにする。

### (4) 国会における上関町長島の生物多様性に関する質疑

質問者	院	質問日	質問場所
田島一誠	衆議院	2009.4.14.	環境委員会
川田龍平	参議院	2009.11.24.	環境委員会
岡崎トミ子	参議院	2010.4.13.	環境委員会
市田忠義	参議院	2010.4.13.	環境委員会
川田龍平	参議院	2010.4.13.	環境委員会
山崎 誠	衆議院	2010.5.11.	本会議

## 6. 今後の展望

- (1) 長島の田ノ浦の公有水面埋立や原発建設は瀬戸内海再生の最後の息の根を止めることであり、沿岸住民の生活基盤を根底から崩すことにつながるという認識を広めていく。そのための生態系調査と解明を特に海鳥や小型鯨類で立証する。
- (2) 特に 2009 年度の助成で調査研究をしたカンムリウミスズメやオオミズナギドリ調査の結果が埋め立て阻止の実効力となるかどうかの鍵を握っているため、今後も重点的な継続調査を行う。
- (3) 法廷の場でより詳細な長島の生態系の論証が必要になる。さらに祝島を調査区域に加え、環境アセスメントの不備を追及する戦力に役立てる。
- (4) 日本生態学会・日本ベントス学会・日本鳥学会の3学会合同による国政への働きかけやシンポジウム開催など研究者集団の社会的なアピールが広汎に行われるという新たな動きが出ている。守る会も生物多様性 COP10 に向けて、エクスカーションやシンポジウム開催など緊密な関係を保ちつつ国際的な世論喚起につとめる。
- (5) 世論喚起のため、長島の自然環境や生態系の普及活動がある。DVD増補版作成などを検討中である。
- (6) 長島の自然を守る会は上関町に拠点を移したので、自然と共生できる原発に頼らない町作りへの具体的提案として、未利用海藻や魚類の商品開発などの提言を研究者と共に行い、町民の意思を変える一助とする。

### 高木基金へのご意見

私たちは自然を相手の地道な調査活動の積み重ねで何とか、ここまでたどり着きました。高木基金の助成のおかげで調査を継続でき、次から次へと新たな知見を得ることができ、上関原発計画反対運動の一端を担うことができました。しかし、調査のうちで成果につながるのはごく一部分です。海鳥調査で6~7時間も海面を凝視し続けてカンムリウミスズメに会える割合は良くて20%です。頂いた助成金に見合う成果を出しているのか、悩み自問自答しながら活動しています。「守るためには知らなくてはならない。」を座右の銘として科学的検証をとおり、上関原発計画の中止・埋立の中止に向けてがんばります。今後とも活動へのご支援・ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

参考：「長島の自然」写真展の実施状況

展示期間・展示会場	イベント名または趣旨（「長島の自然」写真展以外の催しにおける展示方法）	主催者
2009年		
3月31日～4月5日 京都市 堺町画廊	上関 長島の自然 写真展	上関の自然を愛する会近畿
4月11日～12日 広島市 まちづくり市民交流プラザ4階	広島フィールドミュージアムまつり （会場内長島ブースで展示とDVD上映）	広島フィールドミュージアム
4月18日～19日 東京 代々木公園イベント広場	アースデイ東京2009 アースデイNPOビレッジ （イベント会場での展示）	花田恵美代
4月28日～5月2日 愛媛 県立美術館分館・万翠荘	上関・伊方写真展～瀬戸内の「今」とこれ から～	「上関・伊方写真展」実行委員会
5月3日 愛媛県 県民文化会館ひめざんホール	憲法集会 （会場で写真展を併催）	阿部悦子と市民の広場
5月14日～17日 東京 国立市・じゃらんじゃらん小舎	長島の自然を守る会・写真展（期間中にミ ニライブ・瀬瀬あやさんトーク）	梶原憲子
5月17日 愛媛県 松山城・公園テント内	ライブアース （会場内で写真展示）	阿部悦子と市民の広場
5月30日 山口県 宇部市中央町「じゃがいも」	～音楽で一つにつながろう！！～ “大好き山口” （会場内で写真展示と署名活動）	「I MOOZIK FAMILY」
5月31日山口県 山陽小野田市・竜王山公園オート キャンプ場キャンプセンター2階	～音楽で一つにつながろう！！～ “大好き山口” （会場内で写真展示と署名活動）	「I MOOZIK FAMILY」
5月30日～31日 香川県 小豆郡土庄町公民館	日本景観学会・小豆島大会 （会議室ロビーで写真展示）	環瀬戸内海会議
6月6日 山口県 県教育会館	「六ヶ所村ラブソディー」上映会および鎌 仲ひとみ監督講演会 （会場ロビーで写真展示）	西京シネクラブ 共催：「六ヶ所村ラブソディーを 応援する会」
6月7日 香川県・豊島小学校	アースデイかがわIN豊島2009 （豊島小学校体育館内に展示）	環瀬戸内海会議
6月7日～30日 山口市市民活動センター さぼらんて	環境サロン なないろ ～わたしたちが 守りたいもの・大切にしたいもの～（会場 内で写真展示）	なないろわたげ
6月13日～14日 福山市 鞆町・重文「太田家住宅」新蔵	環瀬戸内海会議第20回総会IN鞆 （会場内で写真展示）	環瀬戸内海会議
6月19日 島根県 益田市総合福祉センター	「六ヶ所村ラブソディー」上映会 （会場内で木村恵さんが個人で展示）	キャンドルナイト in 増田実行委 員会
6月28日 山口県 光市民ホール・小ホール	第3回市民による市民のためのエネルギー 講座：小出裕章氏講演会 「原発計画30キロ圏内の光市民として～ 原子炉の研究者に学ぶ原子力発電の恩恵 とリスク」（会場内で写真展示）	市民による市民のためのエネル ギー講座実行委員会
7月11日 東京都 カタログハウス	「ぶんぶん通信」上映会 （会場内で写真展示）	「ミツパチの羽音と地球の回転」 制作プロジェクト
7月11日～12日 神奈川県 男女共同参画センター横浜北「ア ートフォーラムあざみ野」	わたしの貧困 女の貧困 どうしてどう する？ つながる ひろがる ふえみん 泊ってシンポジウム （会場内の交流ラウンジで展示）	ふえみん婦人民主クラブ

展示期間・展示会場	イベント名または趣旨	主催者
8月5日 広島市 ホテルチューリッヒ東方 2001	原水爆禁止広島大会分科会「上関原発を考 えるつどい - 現地報告と交流」(会場内で 写真展示)	原水禁
8月6日 広島市 原爆ドーム前	毎年、原爆ドーム前で青空集会を開催し、 核や戦争被害の写真を展示。今年は、核被 害をつくり出す原発についての写真も展 示する中で、上関原発に反対するため、長 島の貴重な自然の写真を展示。	被爆二世の会(山口市)
8月7日 広島市 まちづくり市民交流プラザ 6階	肥田舜太郎医師公開講演会「内部被曝の脅 威 - 核抑止論を越えて - 」(会場内で展 示)	ひろしま医療人・九条の会
8月14日 広島県尾道市 向島洋らんセンター	ライブ (野外テントで写真展示とDVD上映)	れいこう堂・信恵勝彦
9月13日 広島県福山市 ウェルサンピア福山	小出裕章氏原発問題講演会「被爆と原子力 - 山口県・上関原発・・・あまりに愚かな選 択」(会場内で展示)	広島県保険医協会
10月3日 東京 明治公園	10.3 NO NUKES FESTA 2009 (原水爆禁止日本国民会議引受け)	10.3 NO NUKES FESTA 2009 実行委員会
10月12日 広島県尾道市 向島洋らんセンター	ライブ (屋内展示場で写真展示・署名活動)	れいこう堂・信恵勝彦
10月12日～25日 広島県尾道市 「参遍来」「清水食堂」	ミニ写真展&署名活動	れいこう堂・信恵勝彦
10月13日～18日 東京都 台東区(秋葉原) 「gallery COEXIST」	Touch the Hitomi ~ 鎌仲ひとみ監督作品 上映展~ (会場で写真展示)	「ミツバチの羽音と地球の回転」 制作プロジェクト
10月17日 広島県福山市 「馬呆」	ライブ (会場で写真展示と署名活動)	れいこう堂・信恵勝彦
10月19日 広島県尾道市 「さくらさくら」	ライブ (会場で写真展示と署名活動)	れいこう堂・信恵勝彦
11月23日 神奈川県相模原市 げんせん館		
12月12日 広島県尾道市 向島洋らんセンター	No nukes relay event 「ぶんぶん通信」上映会&ライブ (屋内展示場で写真展示)	れいこう堂・信恵勝彦
2010年		
1月10日 広島県 広島平和記念公園内・広島国際会 議場「ヒマワリ」	瀬戸内海の生物多様性保全のための 3学会合同シンポジウム (長島の自然を守る会が会場内で展示を させてもらう)	日本生態学会自然保護専門委員 会・日本鳥学会鳥類保護委員会・ 日本ベントス学会自然環境保全 委員会
2月13日 広島県 広島工業大学広島校舎	広島で生の落語を聴く会 第6回生らくご会(待合室に写真展示)	広島で生の落語を聴く会
3月8日～13日 神奈川県 横浜市港北区「ギャラリーかれん」	小さなまちの 小さな平和展 (会場で写真展示と署名活動)	小さなまちの 小さな平和展実 行委員会